

## 目 次

平成25年度事業計画並びに予算策定方針	1
I 事業計画	5
1 検診・健診事業	5
2 普及啓発事業	6
3 保健支援事業	7
4 調査研究事業	8
II 事業運営機器の整備	9
III 収支予算書	10
IV 検（健）診・検査等料金表	13
1 検（健）診・検査料金	13
2 講演及び指導料	15
3 データバンク還元料	15
4 検診画像データの提供料	15
5 検診（受付・問診等）要員派遣料	15
6 その他	15

## 平成 25 年度事業計画並びに予算策定方針

### <はじめに>

今年度の当協会事業は、平成 24 年度事業計画並びに予算に基づき推進してまいりました。

その中で、新公益法人制度対応事業は、当初計画通りに申請を行い、平成 24 年 12 月の岩手県公益認定委員会において、認定の答申を得たところであります。これをもって本年 4 月 1 日に移行登記を行い、「公益財団法人岩手県対がん協会」として新たに出発することになります。

このことは、当協会の事業・目的が「民による公益の増進」を担うに十分な要件を満たし、地域に必要な事業であると認められたことに他なりません。今後とも地域に貢献する事業を継続実施してまいります。

がん検診事業は、震災復興から幾らかでも落ち着きを取り戻し、受診数が回復することを望んだものの、当初低く見積もった計画どおり、震災の年と同レベルで推移しております。このことは、目に見える以上に、人とその日常生活、更には行政機能が落ち着いていないことの表れと考えられます。

反して、生活習慣病予防健診は順調な伸びを示しています。現状では、地域で停滞傾向にあるがん検診を、事業所での生活習慣病健診の推奨により補わざるを得ない状況であります。

その他にも、普及啓発活動に力を入れ、テレビ・ラジオ等の媒体を使った広報の充実や、学校へ出向いて健康教育を行う出前授業など、当協会の医療資源とノウハウを生かした活動を継続して行っております。

また、当協会の事業に関する状況として、がん対策推進計画が 5 年を経過し、一定の評価が明らかになってきていることがあげられます。岩手県における平成 24 年 1 月時点取りまとめの進捗状況によると、全体目標としての、全がん年齢調整死亡率 10 万人当りの減少目標 9.1 に対して 2.5 の減少を見ており、改善傾向にあることは大きな成果であります。

なお、個別目標ごとに見ると、予防対策については、喫煙率の減少や受動喫煙対策において大きな効果を上げており、がん医療体制の充実や、情報提供および相談支援、また、がん登録についても一定以上の効果をあげていることが報告されております。

しかしながら、死亡率の減少や、治療予後に影響を及ぼす、二次予防の要である検診の受診率が、効果が明らかに表れることが証明されている50%に達せず、種別ごとに25.6%～36.1%で推移していることは、死亡率の減少目標が達せられないことに影響を及ぼしていると推察されます。

現在、国や県においては、新たに、がん対策推進基本計画を見直し、目標と重点課題に「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」、「働く世代へのがん対策の充実」を追加し、分野別施策に、「小児がん対策」「緩和ケア」、「子供へのがん教育」、「がん患者の就労等社会問題」、「医薬品・機器の早期開発と承認」などを掲げて、更なるがん対策を推進することとしております。

当協会は、新たな推進計画においても、変わらぬ重要課題である「検診受診率の向上」を推進するため、積極的に事業展開して行かなくてはなりません。

このような状況の中で、公益法人として、その事業の重要性を自覚し、医療資源の充実や、技術の向上、適正かつ効率的な法人運営を目指すとともに、検診を受けられる方はもとより、生活する人それぞれの視点に立った、質の高い情報やサービスを提供するなど、今後とも以下の基本方針に則り、運営を行ってまいりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

(基本方針：一部抜粋)

- 1、疾病予防知識の普及啓発に努める。
- 2、疾病の早期発見・早期治療を目指す。
- 3、自己の資質を高め、医療水準の維持向上に努める。
- 4、質の高い検診を提供するとともに、医療機関・行政との連携に努める。
- 5、健全経営に努める。

### <平成25年度事業計画>

全体として、協会事業を推進・拡大することが大きな社会貢献となることに鑑み、新たな公益法人としての制度に対応した法人運営を行いつつ、主に、市町村と連携し、停滞しているがん検診受診率の向上に取り組んでまいります。

#### 1、検診・健診事業

巡回検診（主にがん検診）と施設健診（主に生活習慣病予防健診）を継続して行ってま

います。中でもがん検診は、市町村との連携を密にし、被災地等医療資源の不足地域を補完する役割を果たしつつ、受け漏れ対策や追加検診などを推進することで、受診機会の拡大と受診率の向上に努めてまいります。

また、両検診において、高齢者や障害者が受診しやすい検診など、受診される方の立場に立った検診の実施を心がけ、事業全体としてのサービス向上に努めてまいります。

#### 検診（健診）計画数

項目	実施計画数	24年度実績（1月末）
がん検診	389,946件	390,806件
生活習慣病健診	25,520件	24,183件

## 2、普及啓発事業

ホームページによる情報公開と情報発信を充実するとともに、各種媒体による広報活動を継続して推進し、公益法人移行に伴う名称等の変更や活動の周知も併せて行ってまいります。また、講師派遣、資料配布、研修会・イベント参加等の事業を実施するとともに、新たな試みとして好評を得ている、学校へ出向いて健康教育を行う出前授業を積極的に進めてまいります。

## 3、保健支援事業

各種検診受診後に、精密検査や健康支援が必要な方々を対象として、実施主体と連携し、早期に精密検査等受診するよう勧奨してまいります。当協会が、検診を開始した当初から「保健指導」事業として長年実施してきたものでありますが、今後は「保健支援」事業として、特定保健指導や予後調査、がん相談事業等と併せて内容の充実と拡大に努めてまいります。

## 4、調査研究事業

がん及び生活習慣病対策の普及啓発や各種検診等に資するよう、事業統計資料等の発行や調査研究事業への参加、及び学会への参加等の学術活動を継続して行ってまいります。また、専門医による、協会事業の医療面での指導体制の再構築を検討してまいります。

## 5、その他

公益法人移行を機に、組織規程等を全体的に見直し、制度対応を図るとともに、その周

知徹底に努め、事業基盤である法人組織の強化と、職員の就労環境の改善に資するよう運用してまいります。なお、職員の年齢構成等に鑑み、必要な採用活動を行い、組織機構の適正化を継続して図ってまいります。

また、設備投資は、ここ2年ほど老朽化による検診機器等の更新を重点的に進めてまいりました。今後とも計画的な更新を継続するとともに、事業の質の向上に資するための投資を併せて行い、検診受診数の増加に対しても、精度やサービスの向上を行いながら対応するよう図ってまいります。

### <平成25年度予算>

事業計画に基づき予算を編成しました。

事業収入は堅実に計上しました。事業収入は、がん検診収入が、未だ震災の影響からの脱却に時間がかかると推測されることなどから、24年度予算対比では増額となりましたが、24年度決算見込みの1.04%減としました。

支出は、概ね24年度決算見込み並みといたしましたが、人件費が給与制度の改正及び退職金制度の新設等を行うことに付随しての増額とし、その他の事業費とあわせた合計で、24年度予算対比0.87%増の、1,264,717千円を計上しました。

機器等の新規取得は、検診車2台のほか、検査機器等で合計146,214千円を計画しております。

平成25年度予算損益計算書(対比表) (単位:千円)

科目	24年度予算	25年度予算	増減
事業収入	1,293,714	<b>1,311,960</b>	<b>18,246</b>
がん検診収入	989,242	<b>1,000,781</b>	<b>11,539</b>
生活習慣病健診収入	299,711	<b>305,806</b>	<b>6,095</b>
その他収入	4,761	<b>5,373</b>	<b>612</b>
事業支出	1,253,868	<b>1,264,717</b>	<b>10,849</b>
人件費	577,010	<b>594,393</b>	<b>17,383</b>
その他事業費	676,858	<b>670,324</b>	<b>△6,534</b>
営業利益	39,846	<b>47,243</b>	<b>7,397</b>
営業外収入	25,286	<b>25,346</b>	<b>60</b>
営業外費用	20,189	<b>18,554</b>	<b>△1,635</b>
税引前当期利益	44,943	<b>54,035</b>	<b>9,092</b>

# I 事業計画

## 1 検診・健診事業

各種がん検診及び臨床検査並びに生活習慣病予防健診等を実施する。  
実施計画数及び申込数は次表のとおり。

### (1) がん検診

検診・検査種目		平成25年度		24年度実績 (25. 1. 31現在)
		実施計画数 (人・件)	参 考 (申込数)	
①胃がん検診		105,084	121,010	104,856
②子宮がん検診	検診車	27,738	36,002	27,135
	日母方式	17,040	4,700	14,903
③肺がん検診	撮影	25,122	28,237	25,161
	読影	14,803	16,616	14,664
	喀痰	1,253	732	1,182
	結核読影	19,490	21,059	19,395
④乳がん検診	視触診	7,215	6,661	16,688
	X線検査	32,396	41,937	32,486
	超音波	1,989	2,696	1,720
⑤大腸がん検診		105,057	114,000	105,446
⑥肝・胆・腎検診		13,805	17,256	11,901
⑦臨床検査	婦人科細胞診	13,180	13,180	10,366
	一般細胞診	630	630	524
	病理組織診	1,150	1,150	989
	HPV検査	140	140	122
⑧その他検診		3,854	3,609	3,268
計		389,946	429,615	390,806

### (2) 生活習慣病予防健診

検(健)診・検査種目		平成25年度		24年度実績 (25. 1. 31現在)
		実施計画数 (人・件)	参 考 (申込見込数)	
⑨生活習慣病予防健診 (全国健保管掌)		12,660	13,400	11,827
⑩生活習慣病予防健診 (全国健保管掌外)		2,625	2,700	2,506
⑪特定健診		265	280	280
⑫定期健診		3,700	4,000	3,395
⑬オプション検査 (CT・PSA検査等)		6,270	6,500	6,175
計		25,520	26,880	24,183

### (3) 事業推進活動

- ① がん検診の内容の充実・改善並びに受診率の向上を図るため、市町村・事業所を訪問する。

- ② 全国健保加入者対象の、生活習慣病予防健診受診率が全国的にも低いことを受け、関係機関等と連携して、受診推進活動を行う。  
また、民間健保組合や代行機関を訪問し、施設の特徴や検診内容をPRすることにより、受診数の拡充を図る。

(4) 検診（健診）情報処理・管理

各種がん検診と、臨床検査、生活習慣病予防健診等のコンピュータ処理を継続実施する。  
また、データバンクの還元や、全国健康保険協会等への請求・報告等のデータ受け渡し等、多様化するデータ管理の適正処理を図るため、システムの改善等を行い、円滑に進むよう取り組む。

## 2 普及啓発事業

(1) 維持会員

普及啓発活動の根幹の活動として、継続している。近年会員数が減少しているが、広報活動の拡大とあわせて会員制度をPRし、新規会員の募集を図る。

- ① 法人会員 会費（年・1口） 10,000 円  
② 個人会員 会費（年・1口） 1,000 円

	24年度会員数	23年度会員数
法人	223件	226件
個人	803件	862件

平成25年1月31日現在

(2) 寄付

香典返しに代えての寄付、快気祝い・還暦祝いなどの個人のお祝いや、企業の社会貢献のための寄付や有志による寄付等を受付ける。

(3) 広報活動

		項目	内容
広 報 活 動	①	「いのち輝け」	がん及び生活習慣病への認識を深め、併せて当協会の事業を紹介する。広報誌を年2回（8・2月：各1,500部）発行し、市町村、事業所、会員等に配布する。
	②	メディア広報	がんや生活習慣病の予防と、検（健）診の必要性を広く知ってもらうため、テレビ・ラジオ放送や新聞等を利用して、知識の普及啓発と、検（健）診の受診促進を図るとともに、当協会と健康管理センターのPRに努める。
	③	がん征圧月間	9月の「がん征圧月間」に、がんに関する記事等を新聞掲載する。各報道機関に「がん征圧月間」を取り上げるよう依頼する。
	④	協賛等	県や企業団体のがん予防及び生活習慣病の広報やイベントに協賛する。
	⑤	インターネットの活用	ホームページ及びネット上でのPRの機会を見出し、広く情報を発信する。

- (4) 印刷物、教材の購入・配布及び貸し出し  
イベントの参加者及び法人会員に印刷物を無料配布するほか、パネル・模型等を貸し出し、広く地域住民にがん及び生活習慣病に関する意識の高揚を図る。
- (5) 講師派遣  
イベントや講演会に職員を派遣し、広く県民に向けた普及啓発活動を実施する。また、若年層（小・中・高生）を対象とした健康教育を学校に出向いて行う出前授業を推進し、将来の検診受診率の向上を図る。
- (6) がん検診担当者会議の開催  
市町村・事業所の検診担当者を対象に、検診実施成績報告及び、次年度の申込状況・実施計画の説明と、がん検診等の最新情報についての研修を行う。

### 3 保健支援事業

- (1) 特定保健指導事業  
特定健康診査受診結果に基づき、必要に応じて生活習慣の改善のための「動機付け」や「積極的支援」などの保健指導を行う。
- (2) がん検診予後調査事業  
検診で発見されたがん罹患者の予後の検討を行う。5年生存率等を、岩手県地域がん登録室の協力を得て、引き続き調査する。
- (3) 自己検診法教室・検診事後支援事業  
乳がんの自己検診について、検診の際及び市町村等のイベントや講座などに職員を派遣し、実施方法の指導を行う。

	開催予定回数	参加予定人数
市町村	9回	270人

- (4) 予防電話相談事業  
がん予防に知識の普及のため「がん予防電話相談」を実施する。実施について、報道機関等でPRするとともに、日本対がん協会の「がん相談ホットライン」のPRにも努める。
- (5) 精密検査受診勧奨事業  
各種がん検診及び生活習慣病予防健診の結果、精密検査・再検査が必要と認められた受診者に実施主体の協力のもと、精検未受診者等の調査等を行い、精検・再検査の受診率向上に努める。

## 4 調査研究事業

- (1) 事業報告・事業年報発行事業  
検診及び精密検査受診状況を集計し、市町村や医療機関へ配布する。
- (2) 論文・研究・学会発表事業  
がん及び生活習慣病についての論文等を各種学会に報告し、医療・検診（健診）の質の向上に役立てる。
- (3) 調査研究協力：研究班調査参加、資料調査協力  
日本対がん協会に、当協会のがん発見率等のデータを提供することにより、統計作成に協力する。また、前年度から引き続きHPV検査の有用性を検証するなどの調査研究事業に協力し、データを提供する。
- (4) 技術研修会の主催  
医療従事者を対象として、検診部位毎に症例検討会や勉強会を開催し、検診・診断技術の向上を図る。

## Ⅱ 事業運営機器の整備

取得価格		備 考
検診車	胃がん検診車 乳腺超音波検診車	81,450,000円 1台はJKA補助申請中
乗用車	普通乗用車	4,050,000円 2台の更新
医療機器	胃 X 線 装 置 乳がんビューア 乳腺超音波診断装置	34,500,000円
	総合血液・尿分析装置 心 電 計	23,100,000円
	TECプラスシステム パラフィン伸展器	1,614,000円
建物附属施設	給 水 ポ ン プ	1,500,000円
合 計		146,214,000円

※ 買取額を計上しているが、リース、割賦等を適宜考慮する。

## IV 検（健）診・検査等料金表

(1) がん検診

(単位：円)

検診・検査種目		料金	消費税	税込料金	備考	
胃がん検診		4,600	230	4,830		
子宮がん検診	検診車 頸部	4,000	200	4,200		
	日母方式	1,500	75	1,575		
肺がん検診	胸部X線撮影	700	35	735		
	肺がん読影	900	45	945		
	喀痰細胞診検査	2,100	105	2,205	喀痰採取保存容器代は別途315円(税込)	
結核読影		100	5	105		
乳がん検診(従来方式)	X線+視触診	1方向	4,200	210	4,410	50歳～
		2方向	5,900	295	6,195	40歳～49歳
	超音波		2,700	135	2,835	
	超音波+視触診		4,200	210	4,410	
乳がん検診(新方式①)	X線	1方向	3,900	195	4,095	65歳～
		2方向	4,200	210	4,410	40歳～64歳
乳がん検診(新方式②)	X線	1方向	3,900	195	4,095	50歳～
		2方向	4,200	210	4,410	40歳～49歳
	超音波		2,000	100	2,100	40歳～49歳
大腸がん検診		1,300	65	1,365		
肝・胆・腎検診		3,300	165	3,465	腹部超音波検査による	
臨床検査	婦人科細胞診	1,400	70	1,470	診療報酬点数表を参考 一般細胞診検査は婦人科以外の 検体を対象とする	
	一般細胞診	1,800	90	1,890		
	病理組織診(一臓器)	7,040	352	7,392	婦人科の検体のみを対象とする  臓器数の解釈については、診療報酬 点数表に準ずる	
	病理組織診(二臓器)	14,080	704	14,784		
	病理組織診(三臓器)	21,120	1,056	22,176		
	H P V 検査	3,200	160	3,360		
診療所	胃内視鏡・診察	診療報酬点数表を適用		いわて健康管理センターにおいて実施する(当面の間中止)		

## (2) 生活習慣病健診

(単位：円)

健診・検査種目		料金	消費税	税込料金	備考		
生活習慣病	全国健保管掌	一般健診	17,150	857	18,007	全国健康保険協会の指定による	
		付加健診	25,880	1,293	27,173		
		おすすめ健診	22,919	1,145	24,064		
		半日ドック	29,109	1,455	30,564		
		一日ドック	35,239	1,761	37,000		
		乳がん検査 (X線+視触診)	1方向	3,290	164		3,454
			2方向	5,110	255		5,365
		子宮がん検査	2,000	100	2,100		
肝炎検査	1,890	94	1,984				
生活習慣病	全国健保管掌外	一般健診	18,000	900	18,900		
		おすすめ健診	23,810	1,190	25,000		
		半日ドック	30,477	1,523	32,000		
		一日ドック	35,239	1,761	37,000		
定期健診		7,500	375	7,875			
オプション検査	ヘリカルCT	胸部	8,000	400	8,400		
		内臓脂肪	4,000	200	4,200		
	喀痰細胞診検査		2,400	120	2,520	容器代含む	
	P S A 検査		2,000	100	2,100		
	ヘモグロビンA1c検査		800	40	840		
	腹部超音波検査		5,000	250	5,250		
	骨密度検査		1,000	50	1,050		
	眼底検査		1,000	50	1,050		
	乳がん検査 (X線+視触診)	1方向	3,334	166	3,500		
		2方向	5,239	261	5,500		
	乳腺超音波検査(視触診含む)		5,239	261	5,500		
	子宮がん検査		2,000	100	2,100		
	肝炎検査		2,200	110	2,310		
	ヘリコクターピロリ抗体検査		2,000	100	2,100		
	ペプシノーゲン検査		2,000	100	2,100		
HPV(ヒトパピローマウイルス)検査		3,200	160	3,360			
特定健康診査		6,500	325	6,825			
特定保健指導(動機付け支援)		7,000	350	7,350			
特定保健指導(積極的支援)		22,000	1,100	23,100			

## 2 講演及び指導料（円）

区 分	料 金	消費税	税込料金	摘 要
講 演	20,000	1,000	21,000	医師 1人
指 導	10,000	500	10,500	保健師による乳がん自己触診法教室等 がんに関する指導（1日）

## 3 データバンク還元料（円）

CD等による検診・検査結果報告

区 分	検 診 数	料 金	消費税	税込料金	摘 要
契 約 料	1 検診	20,000	1,000	21,000	初回時またはプログラム等を変更した場合
処 理 料	1～2,000件	2,000	100	2,100	検診種別毎に、処理する検診数により算定 （但し、同一検診で一次検診結果とそれに対する精密検査結果を同時に処理する場合は、一次検診結果の検診数で算定）
	2,001～4,000件	4,000	200	4,200	
	4,001～6,000件	6,000	300	6,300	
	6,001～ 件	8,000	400	8,400	

## 4 検診画像データの提供料

1件 1,000円 [消費税50円 税込1,050円]

## 5 検診（受付・問診等）要員派遣料（一人当たり）

- ・ 1日（8時間） 10,000円 [消費税500円 税込10,500円]
- ・ 半日（4時間） 5,000円 [消費税250円 税込 5,250円]

※ 宿泊が必要な場合は、実費を請求します。

## 6 その他

- ・ パンフレット（乳がん自己触診法教室使用） 1部200円 [消費税10円 税込210円]